

## 『常陸国風土記』にまつわる7つの謎



常陸国府跡「正殿」。人が立っているところが柱跡。ここで風土記は編纂されました。

奈良時代の初頭、元明天皇により、地名には縁起のよい字を使うこと、各地の名産・土地の名前の由来・古老から聞いた昔話を記録することとする命が下りました。

後に風土記と呼ばれるこの書物は幸いにして出雲・播磨・肥前・豊後、そして常陸の国に関して現在まで伝わっています。

今回はこの常陸国風土記の内容について解説するとともに、国府の置かれた石岡市との関係について考えます。

会 場：ふるさと歴史館

(石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内)

開催期間：平成27年8月11日(火)～9月13日(日)まで

開館時間：午前10時～午後4時30まで

月曜日休館

お問い合わせ先：0299 (23) 2398